



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック



証券コード
2479

THIS IS US

—これが私たちJG—

株式会社 ジェイテック

2025年3月期 決算説明資料

2025年5月29日
代表取締役社長 藤本 彰

技術職知財で価値を創造していく

<https://www.j-tec-cor.co.jp/>

目次



(1) 会社概要

ジェイテックグループについて	P. 3
メインビジネスモデル	P. 4
技術職知財リース事業	P. 5

(2) 第29期（2025年3月期）決算概要

連結損益計算書（通期）	P. 7
業種別売上構成（連結）	P. 8
売上上位顧客企業（上位10社）	P. 9
技術要員構成（連結）	P. 10
要因分析（JTEC単体）	P. 11
売上高要因分析 4要素	P. 12
利益要因分析 2要素	P. 16
連結貸借対照表	P. 18
連結キャッシュフロー計算書	P. 19

(3) 第29期（2025年3月期）状況総括

技術者派遣業界の事業環境	P. 21
新規受注状況について	P. 22
配当について	P. 23

(4) 経営理念の実践

経営理念	P. 25
経営理念の施策	P. 26

(5) まなクル事業

“まなクル”とは	P. 33
まなクル（リスクリングビジネス）	P. 34
まなクル（空間ビジネス）	P. 35
まなクル（店舗所在地）	P. 36

(6) 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）

基本目標	P. 38
業績目標（連結）	P. 39

THIS IS US

➔ (1) 会社概要

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

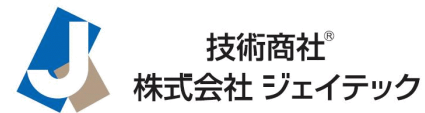
(3) 第29期 (2025年3月期) 状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) まなクル事業

(6) 中期経営計画 (2026年3月期～2028年3月期)

(1) 会社概要 ジェイテックグループについて



技術者の地位向上と業界最高の収入を実現し
創造的個人経営者集団を形成させる。



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック

代表取締役 藤本 彰
資本金 2億6,183万円
社員数 286名 (2025年3月末)
技術職知財リース事業
(機械、電気・電子、ソフトウェア)
設立 1996年8月16日



株式会社 ジェイテック
アドバンステクノロジー

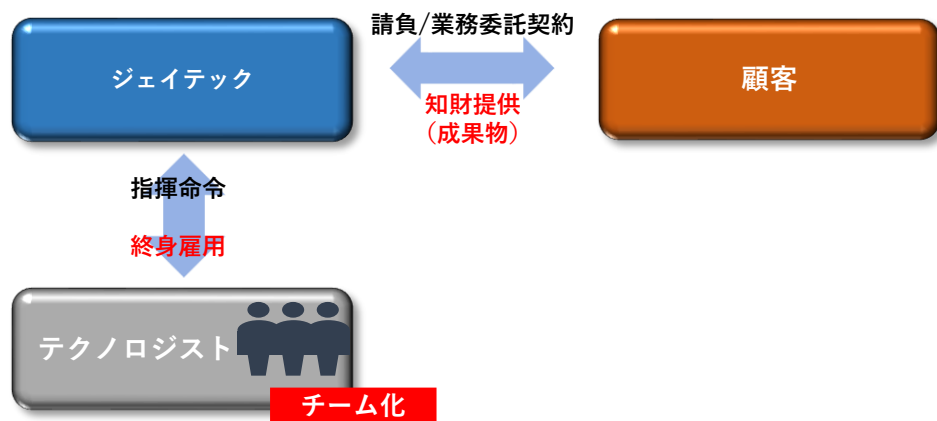
代表取締役 藤本 彰
資本金 5,000万円
社員数 142名 (2025年3月末)
一般派遣及びエンジニア派遣事業
介護・福祉サービス事業
有料職業紹介事業、紹介予定派遣事業

(1) 会社概要 メインビジネスモデル

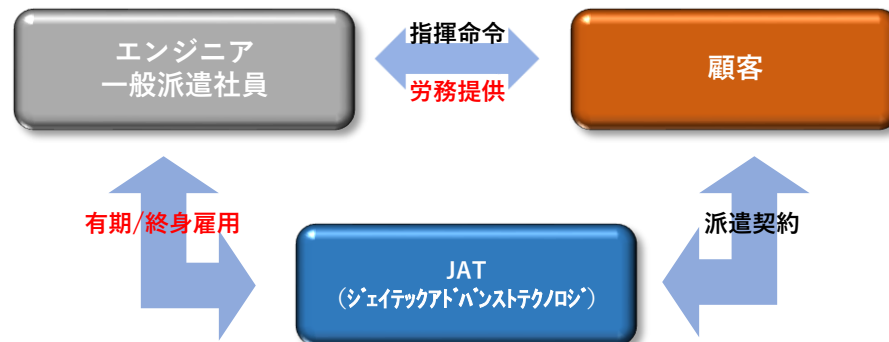
技術職知財リース事業（派遣）



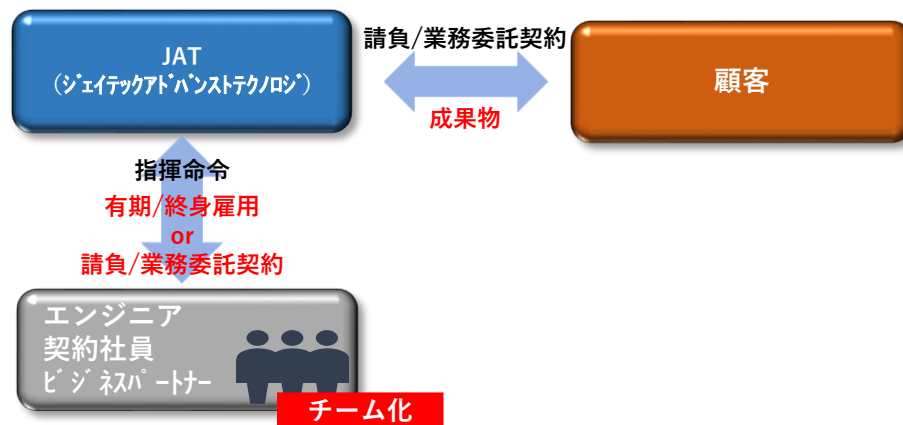
請負型技術職知財リース事業（請負/業務委託）



一般派遣及びエンジニア派遣事業（派遣）



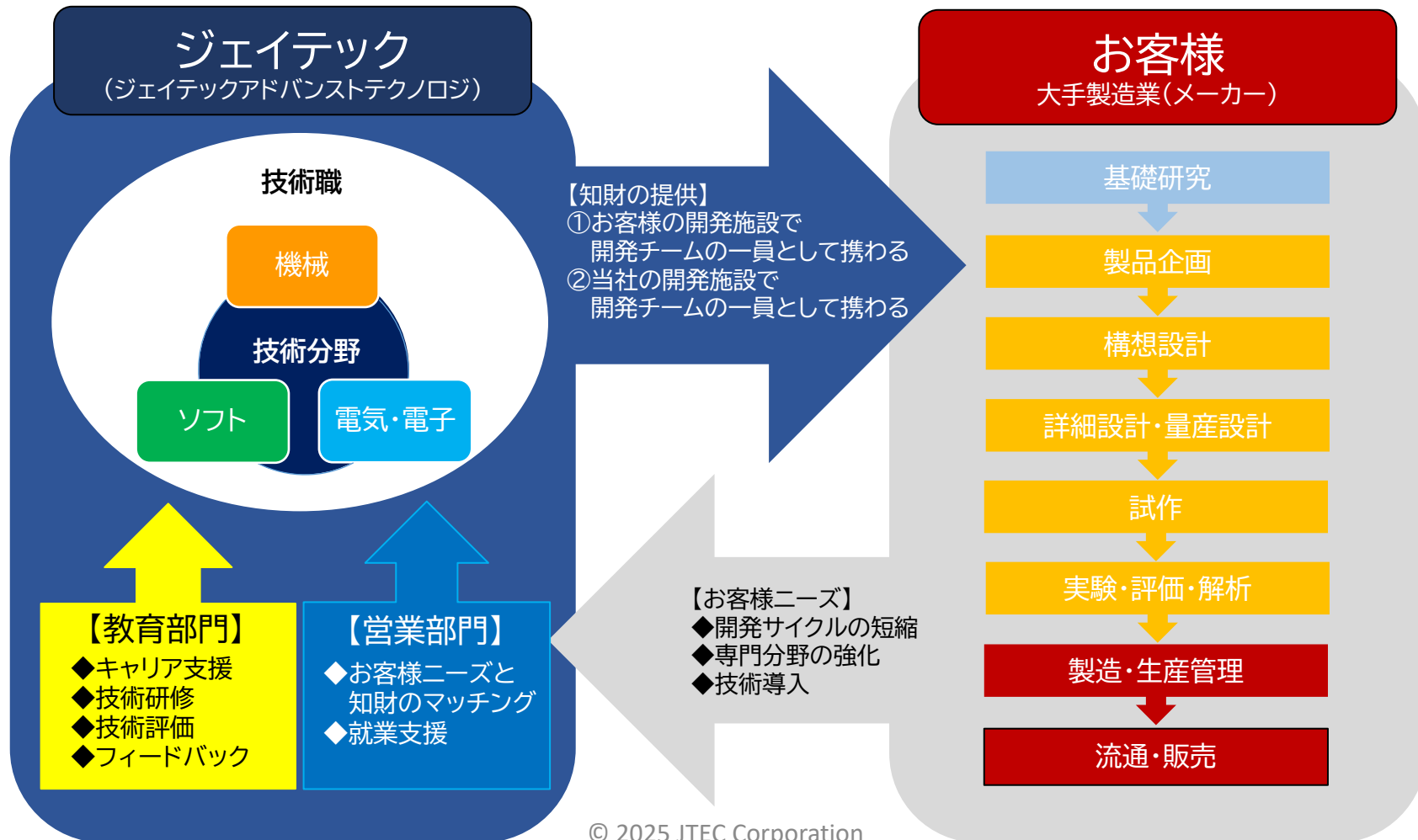
請負/業務委託事業



(1) 会社概要

技術職知財リース事業

お客様が抱える様々な技術課題を、弊社が持つ知財（技術力・専門知識・知恵）を提供することで解決していく事業です



THIS IS US

(1) 会社概要

➔ (2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

(3) 第29期 (2025年3月期) 状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) まなクル事業

(6) 中期経営計画 (2026年3月期～2028年3月期)

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要 連結損益計算書 (通期)



- 売上高 : 前年同期比 4.7%増加
 - ・4期連続増収 ⇒ 単価上昇、稼働率好調
- 売上原価 : 前年同期比 2.3%増加
 - ・原価率低減 ⇒ 外注費抑制、人件費は増加
- 販管費 : 前年同期比 0.2%減少
 - ・人件費は増加 ⇒ その他抑制、全体で横這い
- 営業利益 : 前年同期比 43.7%増加
 - ・100百万円増加 ⇒ 利益率向上、最終利益は計画超え

上場来最高益
連続更新!

	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		対前年 増減値 (百万円)	対前年 増減率
	実績 (百万円)	構成比	実績 (百万円)	構成比	実績 (百万円)	構成比		
売上高	3,177	100.0%	3,242	100.0%	3,393	100.0%	151	4.7%
売上原価	2,220	69.9%	2,191	67.6%	2,242	66.1%	51	2.3%
売上総利益	957	30.1%	1,051	32.4%	1,150	33.9%	99	9.4%
販管費	778	24.5%	822	25.4%	820	24.2%	-2	-0.2%
営業利益	178	5.6%	229	7.1%	329	9.7%	100	43.7%
経常利益	217	6.8%	226	7.0%	330	9.7%	104	46.0%
税金等調整前 当期純利益	212	6.7%	226	7.0%	330	9.7%	104	46.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	131	4.1%	163	5.0%	228	6.7%	65	39.9%

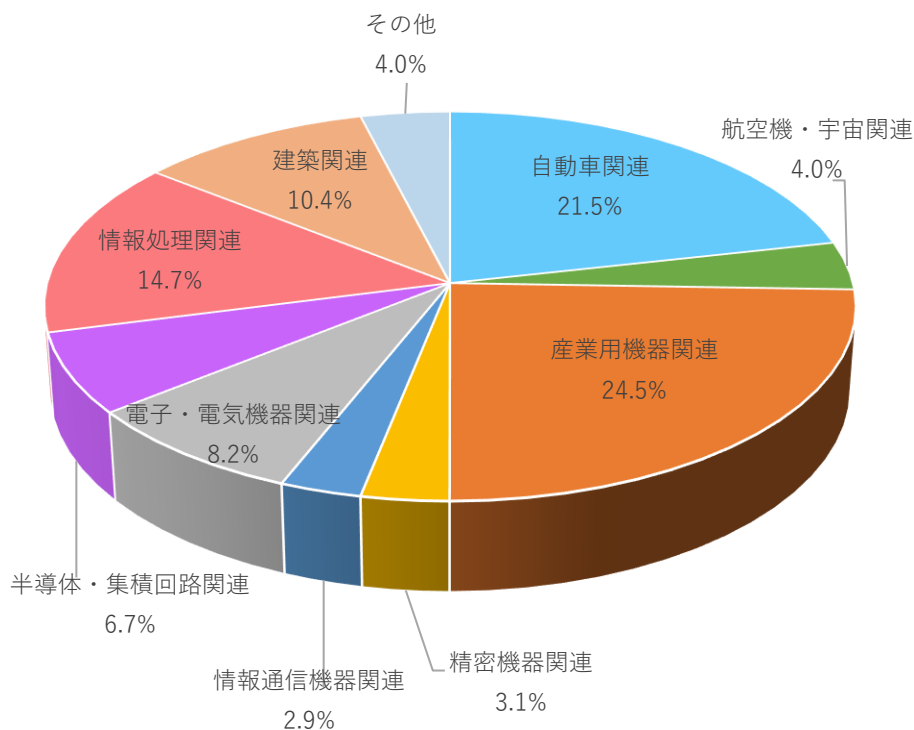
(単位: 百万円)

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

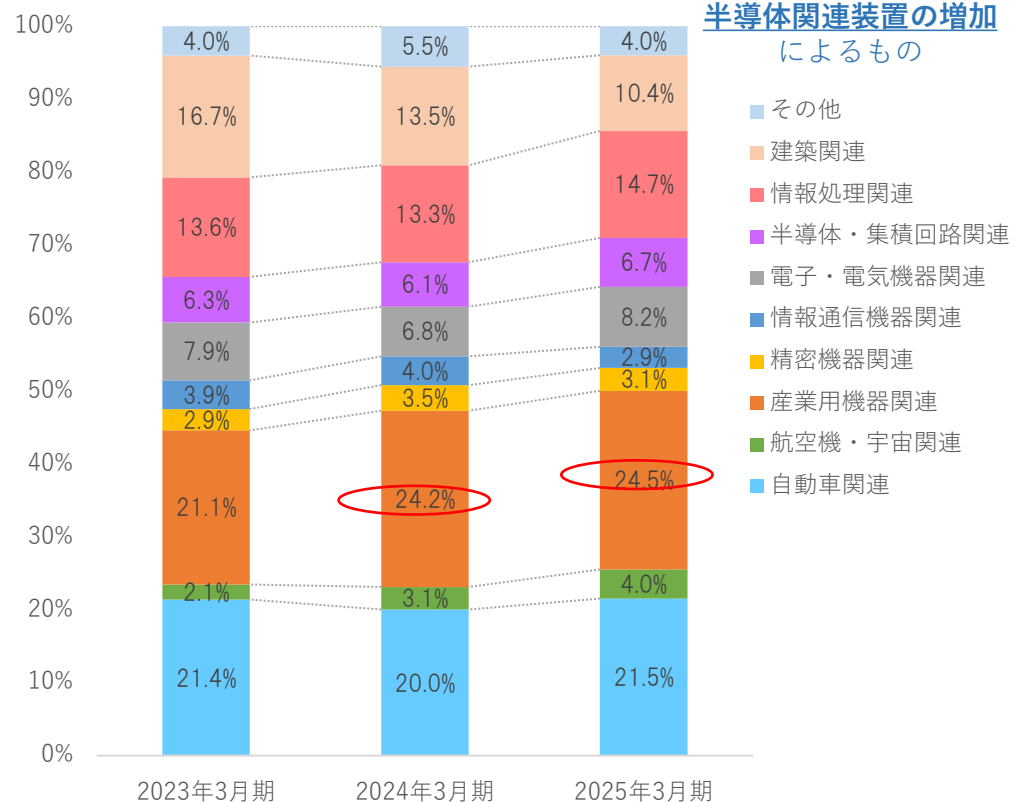
業種別売上構成 (連結)

- 産業用機器関連：全体の24.5%
- 自動車関連：全体の21.5%
- 情報処理関連：全体の14.7%
- 業種別売上構成比の分散化は継続

業種別売上構成



売上構成比推移



(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要 売上上位顧客企業 (上位10社)

- 幅広い業種の顧客企業と取引
- 上場企業および優良中堅企業160社以上
- 幅広い業種の顧客企業と取引

- 高単価・高付加価値業務は一定シェア維持
- 情報処理・産業用機器関連の需要が堅調
- 建築関連も引き続き売上上位



- デンソーテン
- ヤマハ発動機
- 本田技研工業
- 日立GEニュークリア・エナジー
- ヤマハ
- 三菱重工業
- 東レエンジニアリング
- MHIパワーコントロールシステムズ
- オムロン
- LIXIL



※敬称略・順不同

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

技術要員構成 (連結)

➤ 在籍数

● テクノロジスト数

2024年4月1日付 **421名**
2025年3月期末 **388名**

● 新卒採用 (技術系)

2024年4月入社 **43名**
(2025年4月入社 **43名**)

➤ 状況：

● 退職者数 ※グループ全体 (転籍に伴う退職は除く)

27期 **13.5%** (60名)

28期 **14.2%** (62名)

29期 **10.9%** (46名)

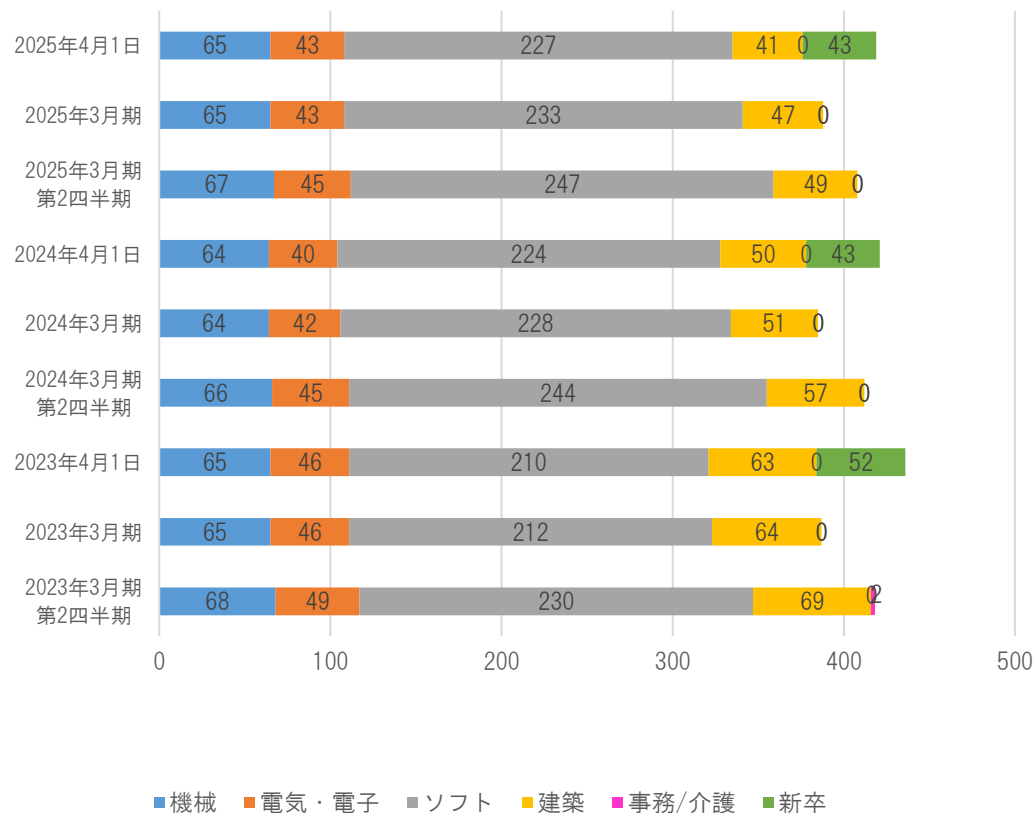
⇒ 離職率 ピーク経て低下方向へ

- 人手不足：技術系人材は高需要
業界内：継続して熾烈な競争

● 対策：時流に則した待遇等

- ・採用強化
 - ・離職率抑制
- } 企業価値

技術分野別テクノロジスト数推移 (連結)

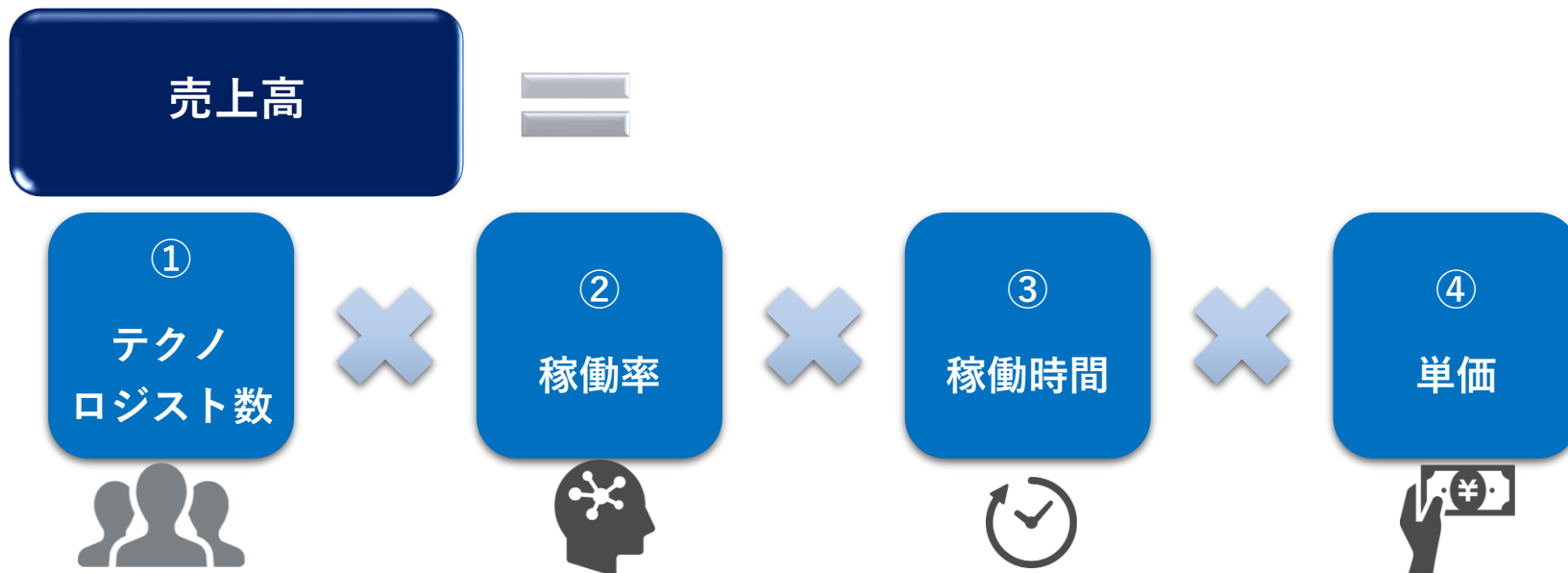


(単位：人)

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要 要因分析 (JTEC単体)

◆売上高要因分析 4 要素

- ① テクノロジスト数 ② 稼働率 ③ 稼働時間 ④ 単価



◆利益要因分析 2 要素

- ① 売上原価 ② 販売費および一般管理費

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

① テクノロジスト数 (JTEC単体)

➤ 在籍数

● テクノロジスト数

2024年4月1日付 224名

2025年3月期末 230名

※単体の在籍者数 安定的

● 新卒採用 (技術系)

2024年4月入社 13名

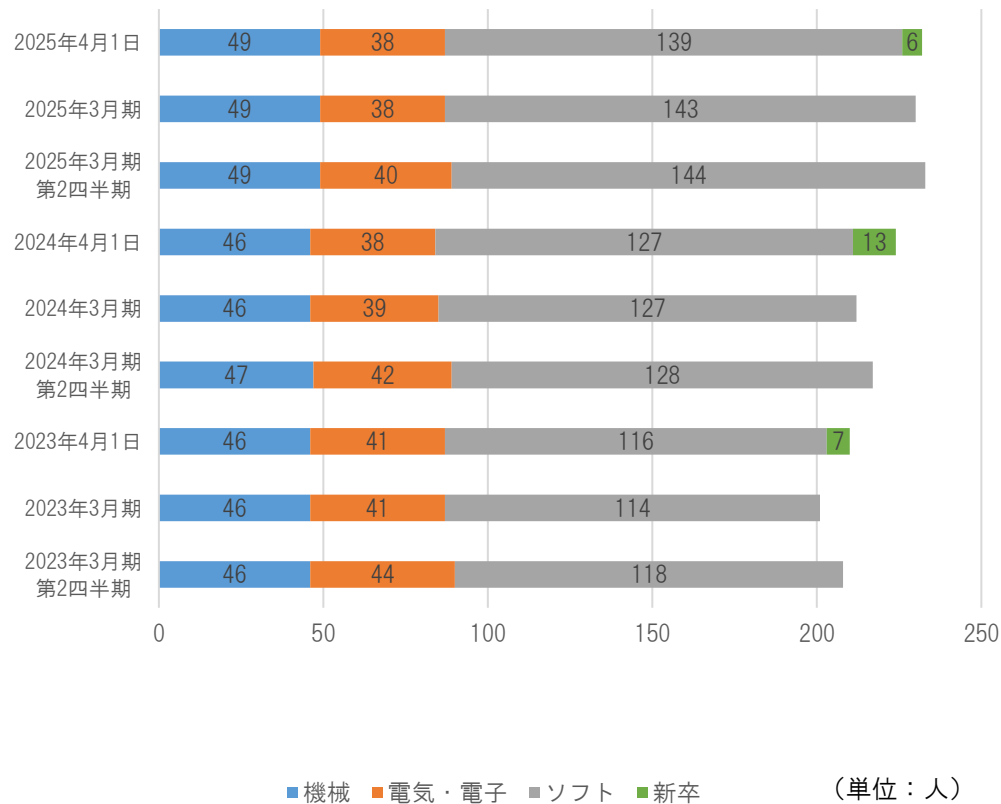
(2025年4月入社 6名)

➤ 分野比率

ソフトウェア系テクノロジスト

5割強

技術分野別テクノロジスト数推移 (単体)

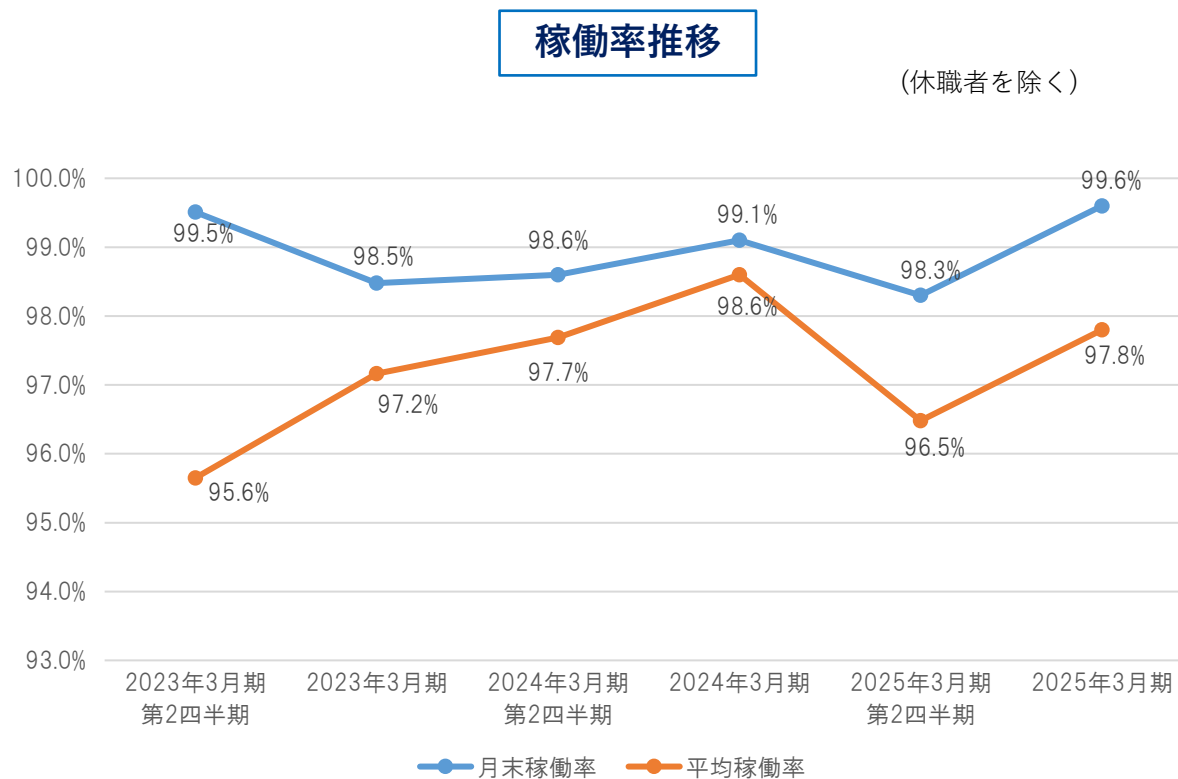


(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

② 稼働率 (JTEC単体)

- 新卒43名のうち JTEC単体 13名
(子会社JATに30名配属)
- 社会経済活動 正常化方向
(営業活動 制限解除)
- 2025年3月末 稼働率 99.6%
(ほぼフル稼働)
- 高水準域維持
(直近ほぼ横這い推移)



(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

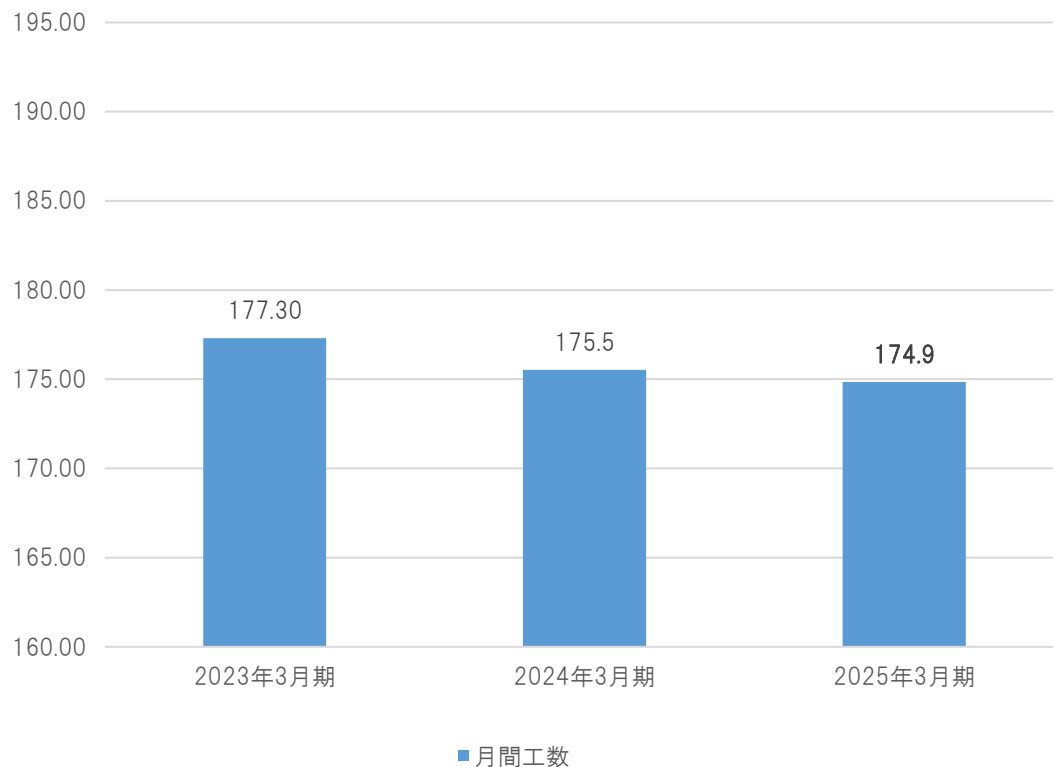
売上高要因分析 4要素

③ 稼働時間 (JTEC単体)

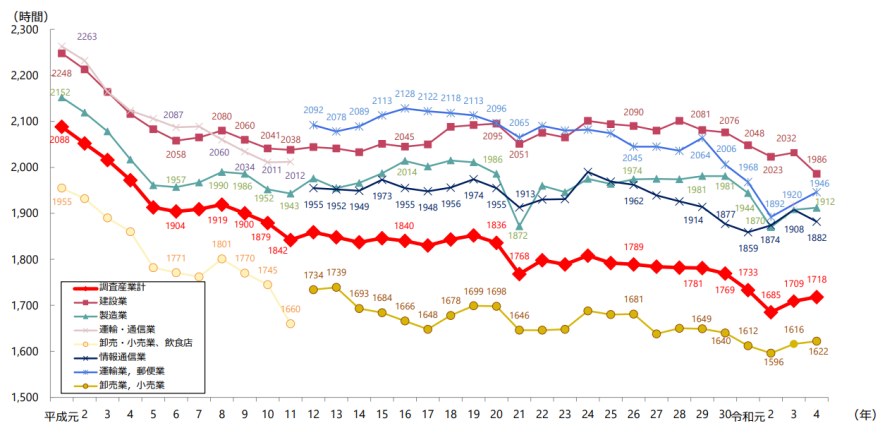
➤ 平均月間工数 174.9時間/人
近年低減傾向、底打ちと判断
働き方(残業時間)の方向性
国内景況感 VS 米国政権状況
⇒顧客事情に依存

平均月間工数の推移

(時間/人)



(参考) 主要産業別年間総実労働時間の推移



(資料出所) 厚生労働省「人口構造、労働時間等について」

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

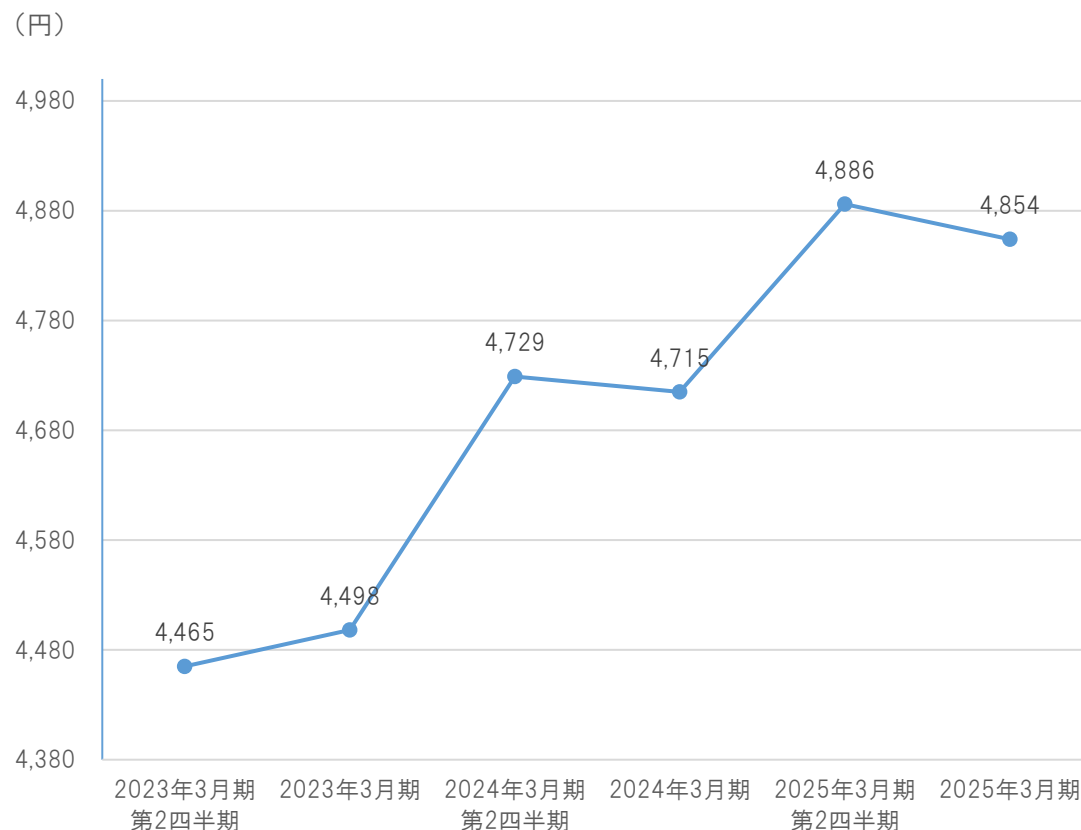


④ 平均単価 (JTEC単体)

- 2023年3月期 前期末から上昇路線
 - ・前期のV字回復切っ掛けに上昇傾向顕在化
- 2024年3月期 さらに勢いづき上昇
 - ・V字回復前の平均単価を大幅越え
- 2025年3月期 堅調に上昇継続
 - ・第2四半期は4,886円
 - ・下半期は若干押し下げ
(新卒テクノロジストが本格稼働)

※2025年も価格改訂に注力
(現在も交渉中)

平均単価の推移



※知財リースのみの単価

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

利益要因分析 2要素

① 売上原価 (JTEC単体)

➤ テクノジストの賃金待遇を改善

⇒ 原価は上昇 (賞与/昇給)

継続的に賞与/昇給実施

28期：昇給率 4.5 %、賞与 4.5カ月分支給

29期：昇給率 5.038 %、賞与 4.5カ月分支給

⇒30期も同様の待遇 実施予定

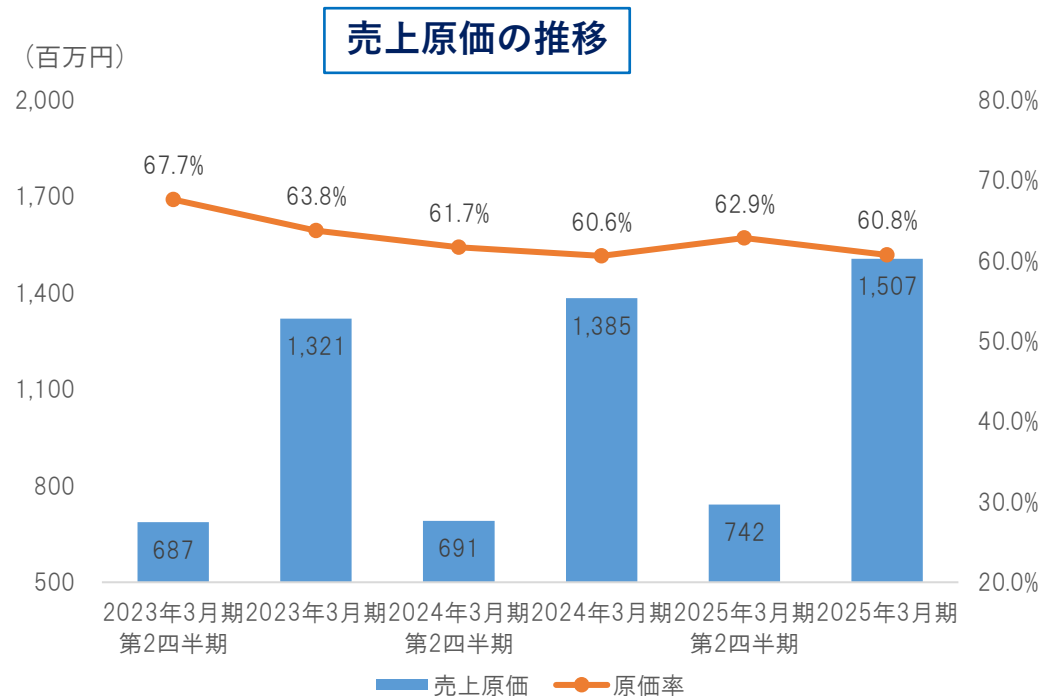
人的資本の尊重、モチベーション向上

・離職率抑制、採用強化

➤ 原価率は低下傾向

単価/稼働率 向上

適正比率に収斂



(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

利益要因分析 2要素

② 販管費 (JTEC単体)

➤ 販管費率は収束方向

固定費の要素は強

売上増で比率低下

人件費等 増加要因あり

- ・ 人的資本⇒待遇改善
- ・ 人員確保⇒採用体制強化

※結果、人員増加⇒人件費増

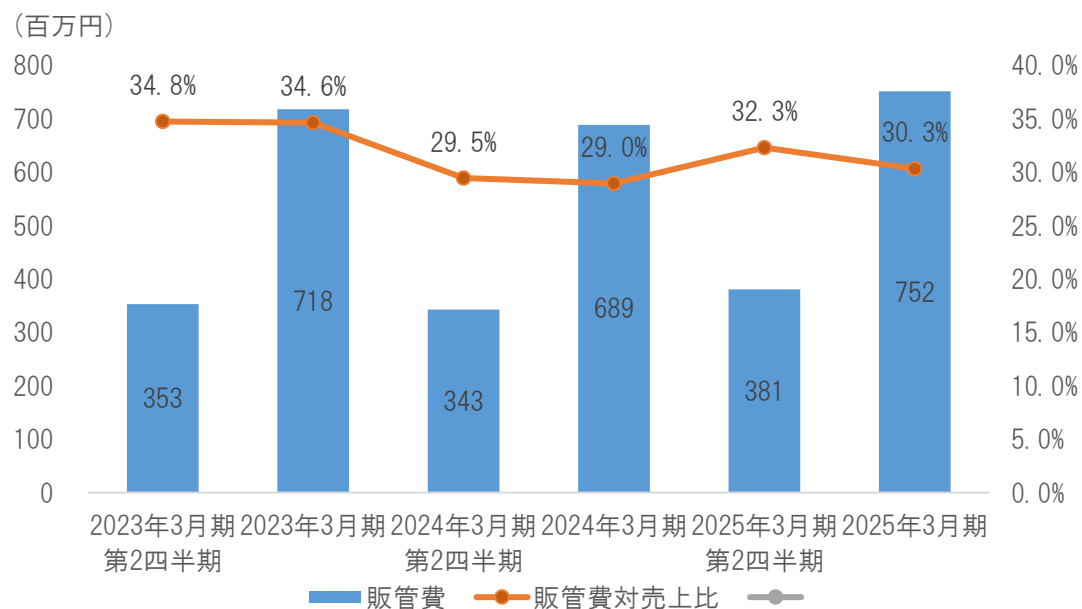
➤ 効率化/合理化 続行

利益重視

利益体質の徹底強化

⇒ ROEを重視

販管費の推移



(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要

連結貸借対照表

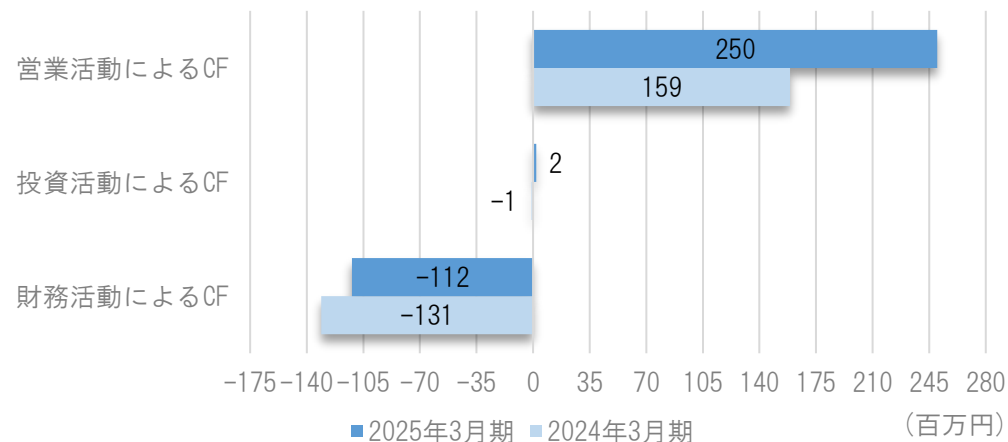
▶ 純資産：自己資本比率58.4%（前期比5.3%増（2期連続で5%超増加））

科目	2024年 3月期	2025年 3月期	増減額	主な要因
流動資産	1,909	2,071	162	現金及び預金
有形固定資産	38	34	△ 4	建物附属設備の減少
無形固定資産	1	1	0	
投資その他の資産	110	111	1	繰延税金資産の増加、敷金及び保証金の減少
資産合計	2,060	2,217	157	
流動負債	522	535	13	未払法人税の増加、未払費用の減少
固定負債	335	263	△ 72	長期借入金返済による減少
純資産	1,202	1,418	216	利益剰余金の増加
負債純資産合計	2,060	2,217	157	

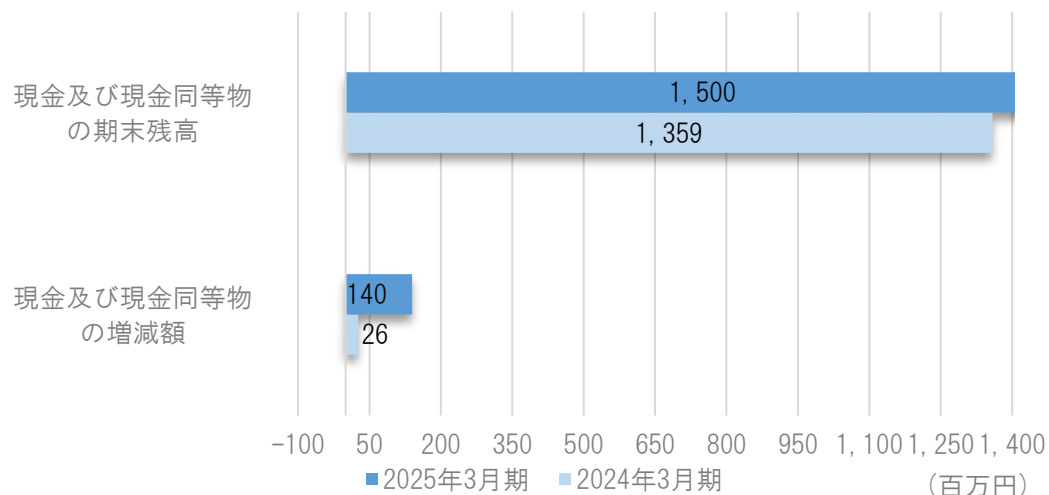
(単位：百万円)

(2) 第29期 (2025年3月期) 決算概要 連結キャッシュフロー計算書

- 営業活動による CF :
 - 当期純利益計上、法人税等還付
- 投資活動による CF :
 - 敷金及び保証金回収
- 財務活動による CF :
 - 長期借入金返済、配当金支払



- 現金及び現金同等物の期末残高
 - 前期比140百万円増の1,500百万円
- 現金及び現金同等物の増減額
 - 当期純利益の計上、長期借入金の返済で全体で140百万円増



THIS IS US

(1) 会社概要

(2) 第29期（2025年3月期）決算概要

➔ (3) 第29期（2025年3月期）状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) まなクル事業

(6) 中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）

市場環境

- 景況感回復 (経済社会/事業活動 活性)
 - 世界経済影響 (米国政権等/依然 先行き不透明感)
 - 少子高齢化 (人手不足/柔軟な労働力 要請/需要高まり)
 - 高度技術 (急速発展/普及加速)
- ⇒ 派遣企業の社会的役割 絶大化

注目業界

- 研究・開発
半導体、自動車関連
- 情報技術分野
AI、IoT、ビッグデータ活用、
クラウド、量子コンピュータなど
- 情報通信分野
次世代移動通信(第6世代)の実用化

人材業界

- ITエンジニア新規有効求人倍率
⇒ 4.0倍 (2025年3月)
※前年同期 3.8倍 (+0.20ポイント)
- 人材獲得競争 依然熾烈
上流工程の技術派遣 ⇒ 景気影響受けにくい

(3) 第29期 (2025年3月期) 状況総括 新規受注状況について

➤ 30期方針 (下記3点 継続)

- ① 新規受注にも注力
- ② リピート受注は強化
- ③ 既存顧客とさらなる信頼関係

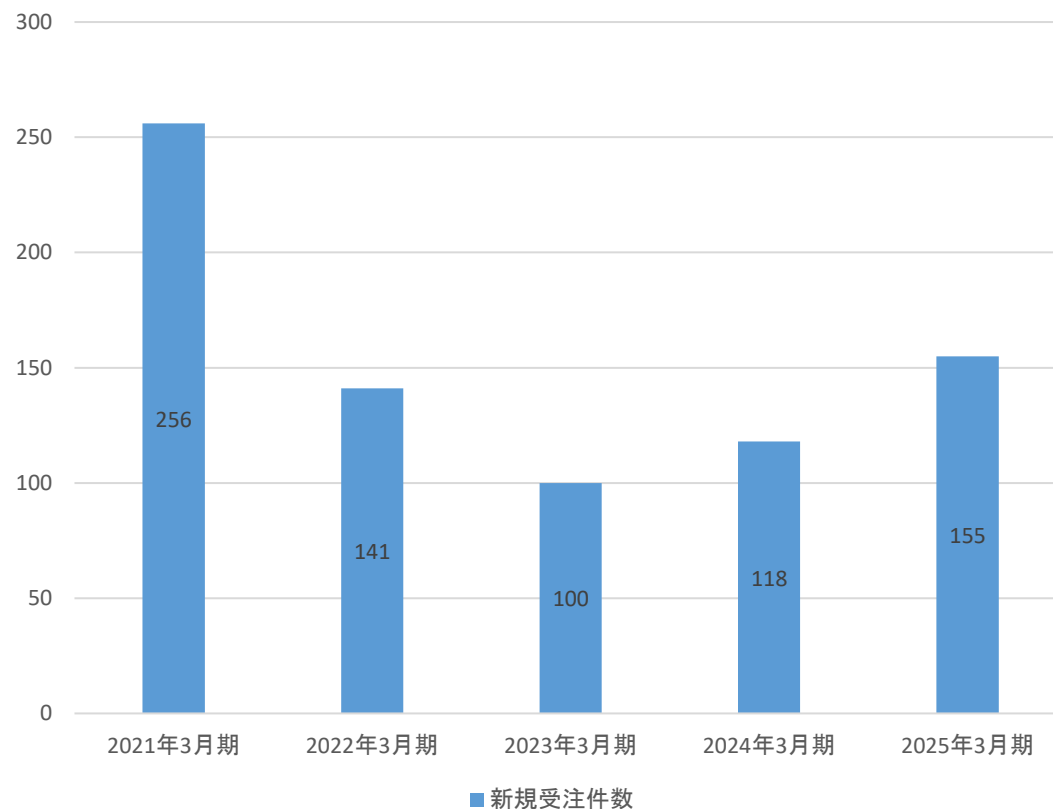
※ 28期から新規受注に積極姿勢

⇒ 上質なビジネス交流の展開

Win - Winな顧客関係を選別

- ・ 優良なお客様を新規開拓
- ・ 優良なお客様からリピート

新規受注年間累積件数



(3) 第29期 (2025年3月期) 状況総括 配当について

➤ **1株当たり10円に増配** (定時株主総会に付議) 配当性向 35.1%

➤ **2026年3月期も配当重視** (現時点では予想値未定)

経営成績・財務状況と経済情勢を総合的に勘案
スタンダード市場への上場達成、30周年
株主還元を意識して**最終利益確保に重点**

ROE (24.3期 14.4% ⇒
25.3期 17.4% ⇒一層の向上)

	配当金	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
2024年3月期	5円	24.4%	3.5%
2025年3月期	10円	35.1%	6.1%
2026年3月期 (予想)	—	—	—

配当性向(%) = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当期純利益

純資産配当率(%) = 1株当たり配当金 ÷ ((期首1株当たり純資産 + 期末1株当たり純資産) ÷ 2)

THIS IS US

(1) 会社概要

(2) 第29期（2025年3月期）決算概要

(3) 第29期（2025年3月期）状況総括

➔ (4) 経営理念の実践

(5) まなクル事業

(6) 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）

経営理念

技術者の地位向上と業界最高の収入を実現し
創造的個人経営者集団を形成させる。

社訓

スピード アンド シンプル

全ての業務はスピードとシンプルを重要視する



① 人材採用と育成の強化

② 事業の多角化

(4) 経営理念の実践 経営理念の施策

① 人材採用と育成強化 < 基本方針 >

ジェイテックの教育方針

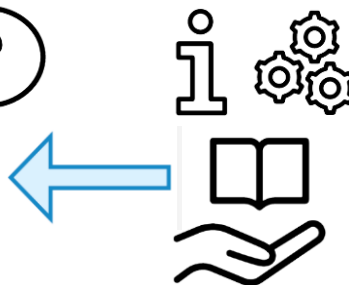
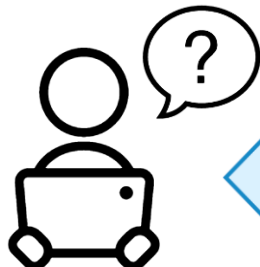
- ① 適応力を持った市場価値の高い技術者育成
- ② グローバル人材の育成
- ③ 社員への情報セキュリティ（機密保持）教育の強化

1人1人に緻密なフォロー
(全社員を対象にプロファイリングを推進)
～夢を叶える教育が、人材を創る～

採用

研修・技術支援

顧客・課題フォロー



① 人材採用と育成強化 < 育成制度の充実 >

技術専門教育とともに様々な教育・研修プログラムを提供

プレマネージャー制度

会社経営のノウハウや、
事業運営について学べる研修制度

マイスター制度

技術力と人間性を兼ね備え、社員の規範と
なるテクノロジストを対象とした認定制度

e-ラーニング

インターネットを利用した自宅学習システム
進捗度・習熟度をサポートする自社開発の
教育プラットフォーム

社外留学制度

国内外の大学院やビジネススクールに
「留学」し、自己スキルを高める制度

社内講習会

先輩社員・外部講師が講師となり
技術力向上を図れる勉強会

自己啓発支援

資格取得支援(受験料負担等)
展示会への参加(費用負担)

カスタマイズ研修

支援先の開発環境に合わせたツール習得
キャリア支援のフォローを目的とした研修

フォローアップ研修

キャリア支援のフォローを目的とした研修
入社2~5年目が対象で同期交流あり

まなクル講師育成

新規事業の教育関連分野における講師の
育成を目的とした研修でFC化推進も企画
教育・研修ノウハウを活用

① 人材採用と育成強化＜動機付けの制度、知財の蓄積＞

【モチベーションの維持/刺激：高パフォーマンスに繋げる】

- **スター型賃金：業績連動型賃金**
派遣単価に連動した賃金制度の確立（技術力/市場価値の向上を狙ったもの）
- **プレマネージャー制度：次期幹部育成**
特定分野に特化した技術だけでなく、経営者的視点/思考を兼ね備えた人材育成
- **マイスター制度：優れたテクノロジストを認定**
- **社外留学制度：社外の教育機関で自己スキルを高める**

★新人事制度の設計/導入 ⇒ 人的資本 充実化（帰属価値/ポジティブ意識 醸成）

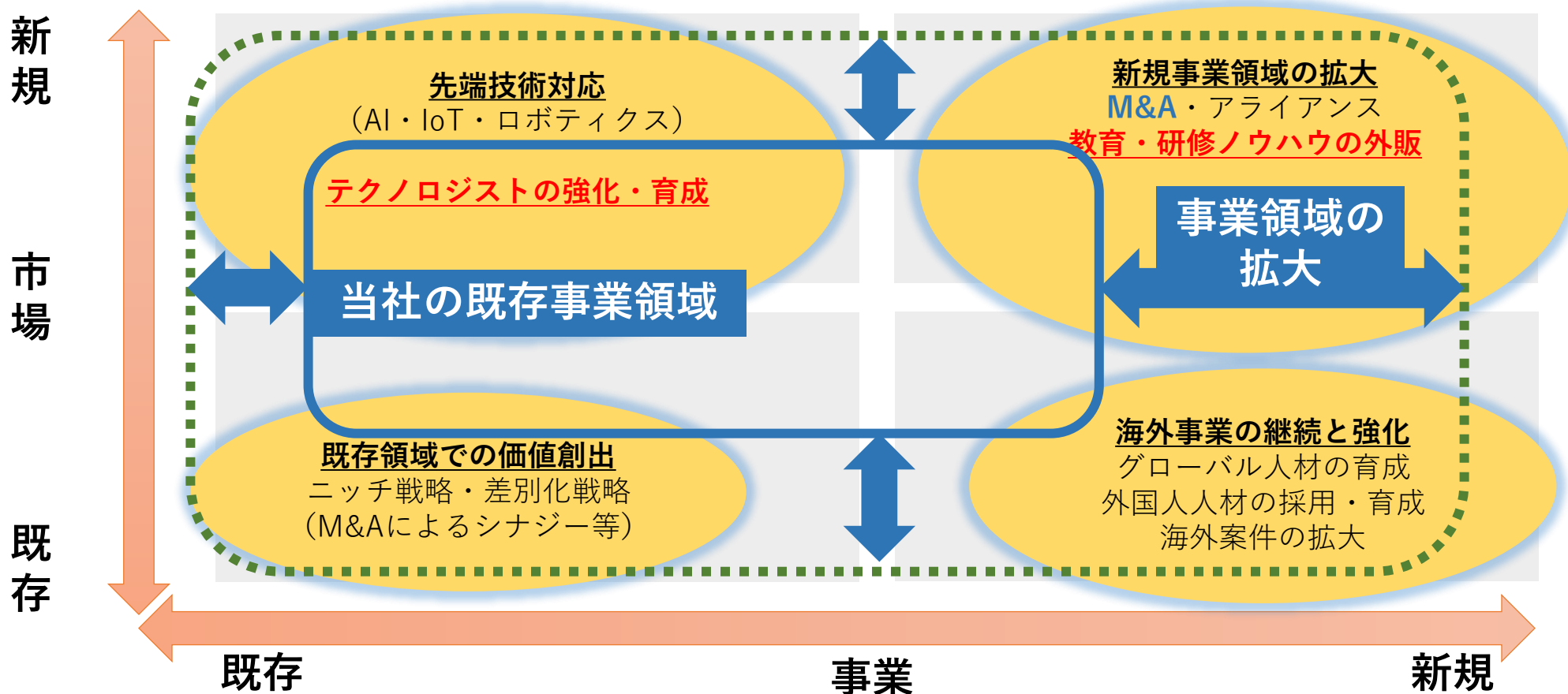
【蓄積ノウハウと展開】

- **クラウド：検定試験「共通クラウド技術検定試験」への協力/後援**
（主催/運営：NPO日本一般労働者派遣協会）
- **AI・量子コンピュータ：研究会を開催中**

(4) 経営理念の実践 経営理念の施策

②事業の多角化

既存事業の他、中長期的に技術力を基盤とした事業領域の拡大を狙う



(4) 経営理念の実践 経営理念の施策

➤ サステナビリティ ～ステークホルダーへのメッセージ～

<対 投資家：信頼感と安心感>

東京証券取引所上場維持
”スタンダード市場”に上り
一層の責任感を背負った
企業にバリューアップ



技術/技術者を重んじる
“匠の精神”に立ち返り
東海エリアを強く意識
(名証メイン市場への
重複上場は継続)



<対 社会：地域貢献活動に注力>

第四次産業革命スキル習得講座認定
("まなクル"開講オリジナルカリキュラム)



経済産業省 認定
厚生労働省 指定



ウインドサーフィンで学生応援



燃料/排煙等なく
自然の力に挑む
大学生を支援

THIS IS US

(1) 会社概要

(2) 第29期（2025年3月期）決算概要

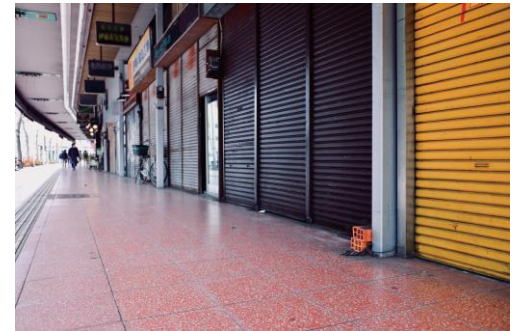
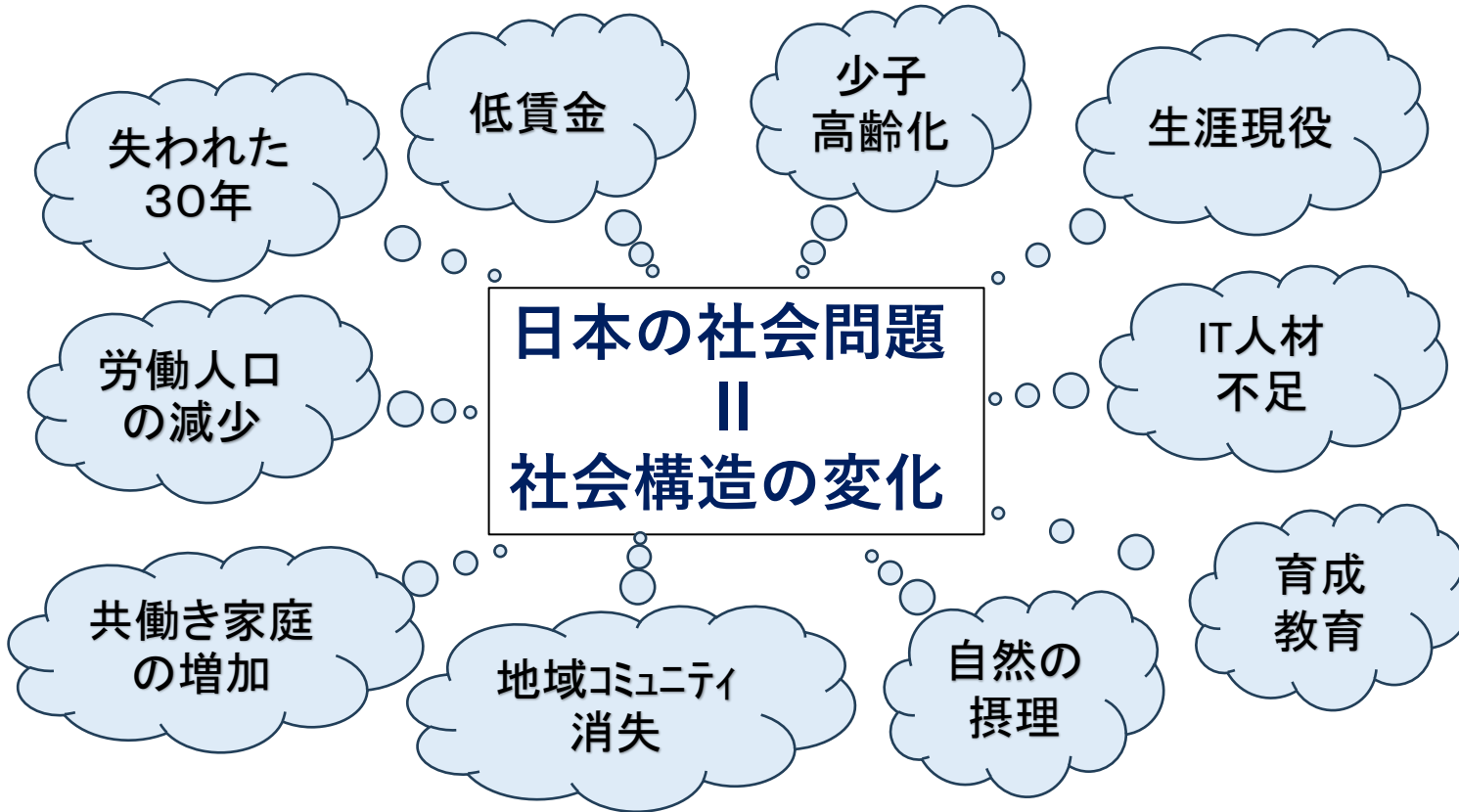
(3) 第29期（2025年3月期）状況総括

(4) 経営理念の実践

 (5) まなクル事業

(6) 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）

(5) まなクル事業 ”まなクル”とは



まなクルとは、このような問題と時代の変化に対応する リスキリングビジネス
解決するための 空間ビジネス を展開中

(5) まなクル事業 まなクル (リスキングビジネス)



技術商社®
株式会社 ジェイテック

B to C



求職者支援

職業訓練



転職・就職支援
スキル教育

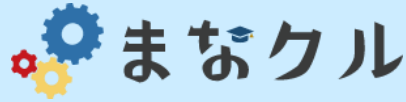


社会人・学生



スキル教育
就職支援

シニア



ビジネススキル
・Office、パソコン
・デザイン
・文書作成
・簿記、財務経理

高度スキル
・データサイエンス
・AI
・IoT
・クラウド

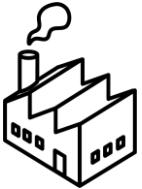
etc...

B to B

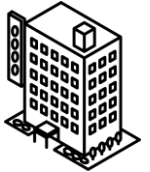
まなクルから生まれた人材を活用



知財リース



人材紹介



高度研修

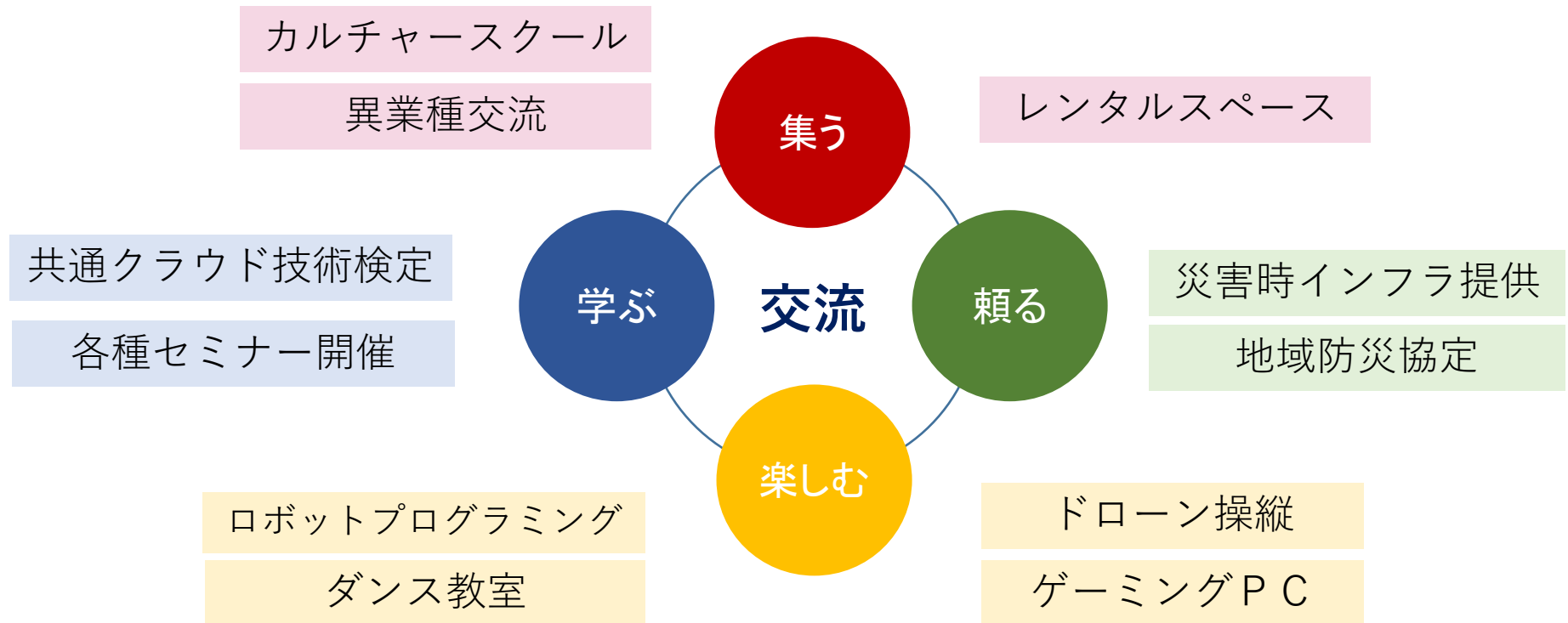


新卒研修

(5) まなクル事業 まなクル (空間ビジネス)

生活のサイクルは 24 時間
年代・ライフスタイルのニーズに応じた空間提供

▶ 固定費を収益化

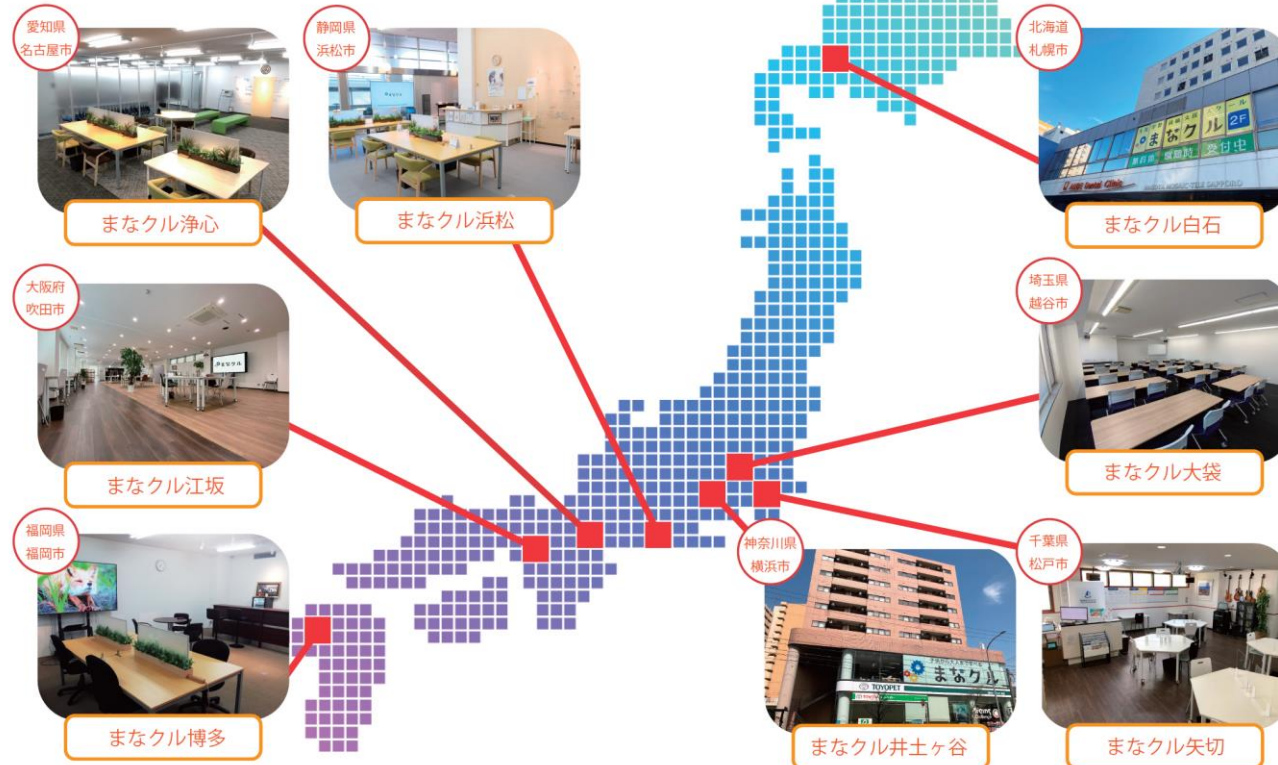


(5) まなクル事業 まなクル (店舗所在地)



技術商社®
株式会社 ジェイテック

直営店： 全国 8 拠点



THIS IS US

(1) 会社概要

(2) 第29期（2025年3月期）決算概要

(3) 第29期（2025年3月期）状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) まなクル事業

➡ (6) 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）

(6) 中期経営計画 (2026年3月期～2028年3月期) 基本目標



技術商社®
株式会社 ジェイテック

THIS IS US <これが私たちJG>

- **持続的な成長に向けた収益基盤の強化**
 - **テクノロジスト700名体制**
 - **特長あるテクノロジストの育成**
 - **テクノロジスト採用・営業の強化**
- **財務基盤の一層の強化と安定した株主還元**
 - **ROEに重点を置いた経営**
 - **配当等による株主還元**
- **投資拡大での成長促進と多角的な収益源確保**
 - **アライアンス・M&Aによる新技術分野進出**
 - **事業ポートフォリオ拡大による多角化**

技術職知財リース事業の基盤をより強固にして
企業価値・株主価値の向上を実現

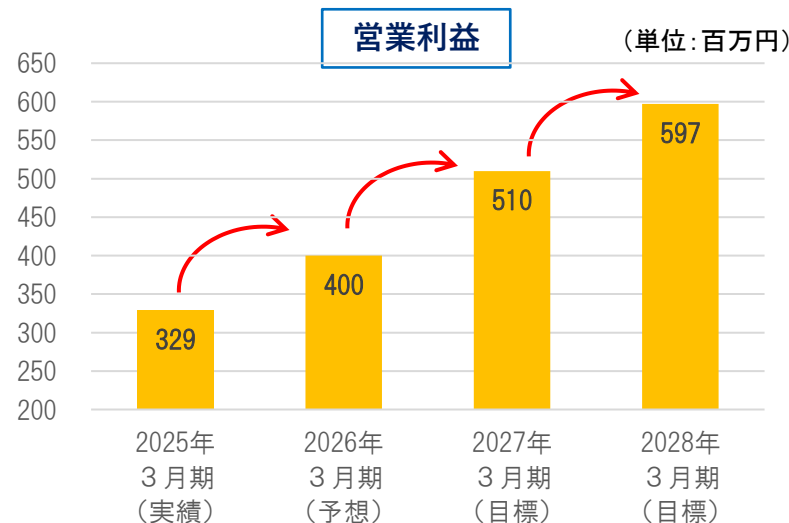
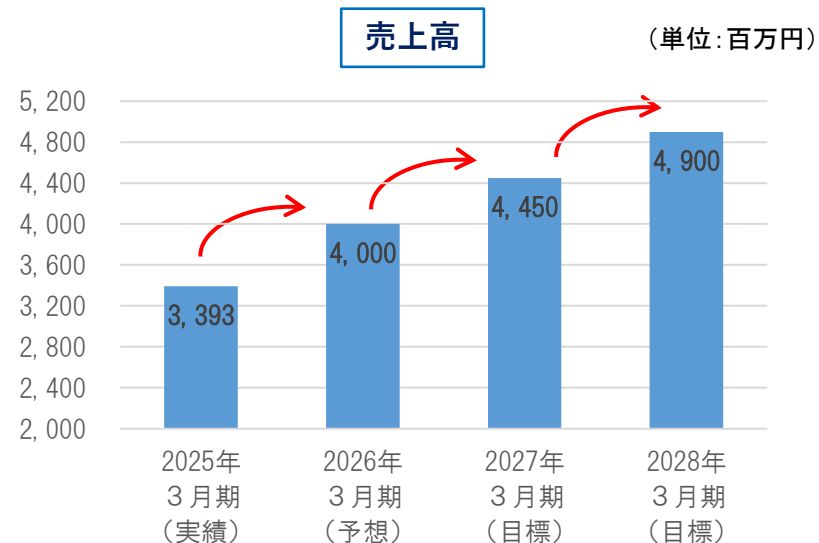
(6) 中期経営計画 (2026年3月期～2028年3月期) 業績目標 (連結)

THIS IS US

- これが私たちJG -

	2025年 3月期 (実績)	2026年 3月期 (予想)	2027年 3月期 (目標)	2028年 3月期 (目標)
売上高	3,393	4,000	4,450	4,900
営業利益	329	400	510	597
経常利益	330	400	510	597
親会社株主に帰属 する当期純利益	228	240	281	328

- **人員確保に注力 組織的に整備**
(早期700名体制 高定着率を目指す 人員採用/人事制度)
- **利益率の高い構造に進化**
(損益分岐点超え 事業多角化 高収益化)



参考資料

当社について

設立

1996年 8月16日

代表者

代表取締役社長 藤本 彰

事業内容

- 技術職知財リース事業（技術者派遣及び請負業務）
- 機械設計開発、電気・電子設計開発、ソフトウェア開発
- ソフトウェアの自社開発及び開発受託
- 有料職業紹介業務、介護事業
- 各種技術サービス・技術教育サービス・総合コンサルタント業務
- 一般派遣事業(連結子会社)

連結子会社

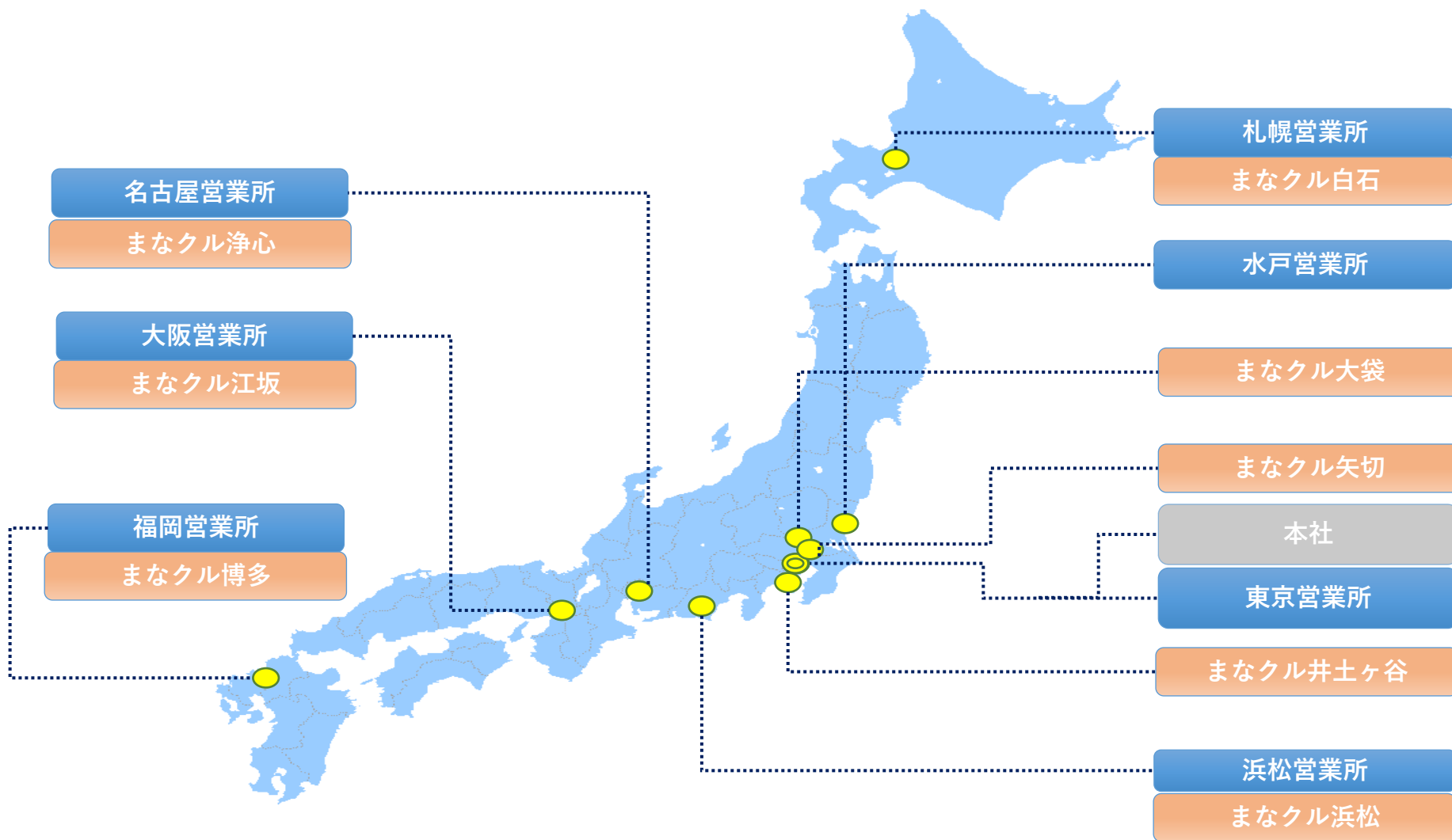
- 株式会社ジェイテックアドバンステクノロジー（当社100%出資）

従業員

286名（2025年 3月31日現在）

※グループ合計 428名

全国事業拠点



➤ 業績

(1) 収益：売上高 3,393百万円

4期連続 増収！！

(2) 利益：営業利益 329百万円

全利益ベース
上場来最高益 連続達成！！

(※最終利益は計画値も超！！)

➤ 株主還元

(3) 配当：10円/株 予定

増配！！

(22.3期 1円 → 23.3期 5円 → 24.3期 5円)
⇒ 25.3期 10円

※配当性向 35.1%

➤ トピック関連

(4) 上場市場：東証スタンダード市場に区分変更

上場維持！！
グロース→スタンダードに新規上場！！
東証&名証 重複上場 継続！！



(5) まなクル事業：リスキリング講座 公的認定/指定

経済産業省の第四次産業革命スキル習得講座の認定！！
厚生労働省の専門実践教育訓練講座指定！！

第四次産業革命スキル習得講座認定コース



IoT・AIエンジニア養成講座

(6) CSR/社会貢献：ウインドサーフィン

日本ウインドサーフィン協会 オフィシャルパートナー！！
大学生選手を応援！！
就職支援・社会進出活動をサポート！！



ご高覧ありがとうございました

お問い合わせ：IR 担当窓口

部署 : 経営企画室
役職 : 室長
氏名 : 谷口 恵大
電話 : 03-6228-6463
FAX : 03-6228-8866
E-Mail : ir-info@j-tec-cor.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、信頼できる各種データに基づいて作成しておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。